

2006年4月26日

各位

明治安田生命保険相互会社

業務改善計画実施状況（2006年4月）について

明治安田生命保険相互会社(社長 松尾 憲治)は、業務改善計画および「明治安田再生プログラム」に基づき、ガバナンスの改善・強化および「お客さまを大切にできる会社」の実現に向けた取組みを推進しております。

今回は、業務改善計画の主な実施状況につきまして以下のとおりご報告いたします。

なお、既に公表している内容につきましては、「明治安田再生プログラム」に基づき、その実効性を高める取組みを継続しております。

1. 社外取締役候補予定者の経営改善協議会への参加

当社は、2006年7月4日開催の第59回定時総代会における承認決議を前提に、委員会設置会社に移行いたしますが、その際あらたに社外取締役に就任することについて内諾を得た取締役候補予定者（4名）を2006年3月31日に公表いたしました。

委員会設置会社への移行までの間、経営に関し社外役員と代表取締役が協議する場として「経営改善協議会」を2006年1月16日付で設置し、ガバナンス改善に関する事項等について協議・提言をいただいておりますが、本日（2006年4月26日）開催の第4回「経営改善協議会」から社外取締役候補予定者にもご参加いただき、委員会設置会社移行後の委員会等の機能・運営体制等、ガバナンス改善に関する事項について協議・提言をいただきました。

2. 「三利源の開示」の決定の公表

当社は、ご契約者をはじめとして、広く一般の方に対して、期間損益の増減要因等を含め当社の経営状況をよりご理解いただくために、2005年度決算より「三利源の開示」を決定し、2006年3月31日に公表いたしました。

同開示は、お客さまから、信頼回復に向けて経営情報の積極的開示を求めるといったご要望も多いため、「社会に開かれた会社」の実現に向けた取組みの一環として、基礎利益の内訳項目として「三利源」の状況を自主的に開示するものです。

以上